

こと。此の歴史の簡率の跡を回顧するとき、我々は幾多の困苦艱難  
 に遭遇してゐることを知るべきである。併しなほ、此の南を衝いて我々總  
 聯合の道を進ませようとするとは即ち我々の労働組合主義の勝利であ  
 る。

元来我が日本の労働組合運動は眞実なる大衆的労働組合として  
 発展するよりも、その前々或は共産主義、或は無政府主義、或は社会  
 カリスマ等々の思想的波濤に悩まされて来た。かゝる混乱の序にあつ  
 て、<sup>者</sup>我々よく労働者の生活に於ける困苦を痛めて結合して来たものこ  
 るは我々の労働組合主義である。今労働組合運動を更なる宗教的  
 なるもの、<sup>イデオロギ</sup>思想的主義のなすもの、自主的な労働者のなすもの